

平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月24日

上場会社名 株式会社建設技術研究所 上場取引所 東
 コード番号 9621 URL http://www.ctie.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 寺井 和弘 (TEL) 03-3668-0451
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	21,546	3.2	1,697	△11.0	1,753	△10.1	1,078	△3.1
26年12月期第2四半期	20,878	12.8	1,907	105.6	1,950	98.2	1,113	86.2

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 1,221百万円(11.0%) 26年12月期第2四半期 1,100百万円(50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	76.25	—
26年12月期第2四半期	78.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	51,885	23,188	44.5
26年12月期	41,011	21,870	53.1

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 23,083百万円 26年12月期 21,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	3.7	2,500	4.6	2,600	3.0	1,550	4.0	109.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期2Q	14,159,086株	26年12月期	14,159,086株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	18,225株	26年12月期	18,071株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期2Q	14,140,947株	26年12月期2Q	14,141,248株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載された連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成27年度の公共事業関係費は前年度と同水準となったものの、自然災害に対応するための事前防災・減災対策ならびにインフラの修繕・更新といった老朽化対策に重点配分されるなど、当社グループの属する建設コンサルタント産業の事業環境は堅調に推移しました。

このような状況下にあつて、従来の技術分野におけるシェアの維持から拡大、未参入分野ならびに新分野、周辺分野への業務領域の拡大に取り組んでまいりました。また、技術力によって契約企業を選定するプロポーザル方式において当社の優位性を発揮するとともに、価格競争力も併せて強化することにより、計画に沿った受注の確保と利益の計上を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の受注高は前年同四半期比0.9%増の22,742百万円（前年同四半期22,549百万円）となりました。売上高につきましては、21,546百万円（前年同四半期20,878百万円）となり通期予想売上高の52.6%となりました。経常利益は1,753百万円（前年同四半期1,950百万円）と通期予想経常利益の67.5%、第2四半期純利益は1,078百万円（前年同四半期1,113百万円）となり、通期予想当期純利益の69.6%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は51,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,873百万円の増加となりました。これは主に受託料収入等による現金及び預金ならびに有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債は28,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,556百万円の増加となりました。これは主に未成業務受入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は23,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,317百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が129百万円、退職給付に係る負債が651百万円および繰延税金資産が171百万円減少し、利益剰余金が336百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657	4,020
受取手形及び完成業務未収入金	1,700	1,601
有価証券	10,001	19,502
未成業務支出金	13,493	13,222
その他	1,070	964
貸倒引当金	△11	—
流動資産合計	28,912	39,311
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,584	4,584
その他（純額）	2,133	2,134
有形固定資産合計	6,718	6,719
無形固定資産		
投資その他の資産	243	320
その他	5,154	5,551
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	5,136	5,533
固定資産合計	12,098	12,573
資産合計	41,011	51,885
負債の部		
流動負債		
業務未払金	1,457	1,066
短期借入金	850	650
未払法人税等	722	784
未成業務受入金	10,792	21,964
賞与引当金	1,108	481
役員賞与引当金	28	13
業務損失引当金	106	78
その他	2,194	2,556
流動負債合計	17,260	27,595
固定負債		
退職給付に係る負債	1,463	725
資産除去債務	126	127
その他	290	248
固定負債合計	1,879	1,101
負債合計	19,140	28,696

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,025	3,025
資本剰余金	4,122	4,122
利益剰余金	14,856	16,015
自己株式	△11	△12
株主資本合計	21,992	23,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	663
退職給付に係る調整累計額	△829	△731
その他の包括利益累計額合計	△218	△68
少数株主持分	96	104
純資産合計	21,870	23,188
負債純資産合計	41,011	51,885

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	20,878	21,546
売上原価	15,252	15,829
売上総利益	5,625	5,717
販売費及び一般管理費	3,717	4,020
営業利益	1,907	1,697
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	14	18
受取家賃	17	17
その他	17	26
営業外収益合計	56	69
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	2	2
為替差損	7	6
その他	0	1
営業外費用合計	13	13
経常利益	1,950	1,753
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産処分損	2	4
リース解約損	0	—
その他	0	—
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	1,970	1,748
法人税等	864	680
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105	1,068
少数株主損失(△)	△7	△9
四半期純利益	1,113	1,078

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105	1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	51
退職給付に係る調整額	—	100
その他の包括利益合計	△4	152
四半期包括利益	1,100	1,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,108	1,227
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。